

平成 2 8 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 2 8 年 4 月～平成 2 9 年 3 月

1. 学校概要

学校名 白石市立斎川小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒989-0215
宮城県白石市斎川字町尻南1-1

E-mail info@saikawa-e.shiroishi-c.ed.jp

Website <http://www.saikawa-e.shiroishi-c.ed.jp>

児童生徒数 男子 13 名 女子 6 名 合計 19 名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

事業名	川の生き物を調べよう（『孫太郎虫』探検隊）
開催期日	1回目：10月14日（金） 2回目：11月28日（月）
事業の目的	水生生物（特に、地域の特産となっていた『孫太郎虫』）の採取や観察を行い、水質及び成長に伴う様々な要因を探る活動を通して、地域の環境保全の大切さを実感させ、環境に対する意識を高める。
事業内容	水生生物の採取及び飼育観察 ① 『孫太郎虫』探検隊（3・4年生）を組織する。 『孫太郎虫』とは、昔、斎川地域で特産とされていた子どもの疳の虫に効く薬で、ヘビトンボの幼虫である。 ② 学校付近にある農業用水路や川（斎川）に生息する生き物を採取し調査を行う。 ③ 用水路や池などの水源をたどりながら、さらに上流域の生き物調査を実施し、採取した生き物を飼育観察する。 ④ 上記の活動をもとに、生態系保全の啓発活動を行う。
事業の成果や反省など	<ul style="list-style-type: none">1回目の活動では、学校近辺の小川で「孫太郎虫」を約十匹採集することができた。2～3cmの大きさであった。また、トンボのやご、小魚、蟹も採集することができ、水質がきれいであることが分かった。2回目の活動では鹿の子沼周辺の小川で数十匹の「孫太郎虫」を採集することができた。1回目に比べ、体の大きさも3cmを超えるものが多かった。学校近辺の小川より、人の出入りの少ない場所では、水質が良好であり、餌となる微生物も豊富であることが推察される。児童はその生態に興味を示し、生態について図鑑やインターネットを活用し調べ、飼育に取り組んだ。白石土地改良区や大河原農村振興事務所のご協力で、下見等安全対策を十分に行っていただいたので、安心して活動することができた。

事業名	伝統を受け継ごう（『団子さし』）
開催期日	1月13日（金）
事業の目的	地域の伝統的な小正月行事について理解し、地域を愛する気持ちを育む。
事業内容	<p>団子さしを行う由来と制作作業体験</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1・2年生が活動を行う。 ② 地区の方々をゲストティーチャーとして招き、地域で行われている小正月行事について、講義を受ける。 ③ ゲストティーチャーの方に、もち米やミズキを準備していただく。 ④ ゲストティーチャーの指導の下、餅つきや団子さしを行う。
事業の成果や反省など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童は、餅つきをするよい機会となり、冬の時期に花が見られないが、団子さしをすることで紅白の餅が花のように見え心が和らぐこと、そして、乾燥した餅も食料になるといった活用して生活に役立つものになることを実感していた。 ・ 地域の老人会や公民館のご協力で、大きな2本のミズキに餅をさすことができた。 ・ 材料とミズキを確保するためには、地域の方々のご協力が必要である。今後も密に連絡調整することが必要となる。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）